

◇ 令和6年 民間給与実態統計調査

Q : 令和6年の民間給与実態統計調査が公表されたとか。どのような内容でしたか？

A : 次のような内容でした。

【解説】

さきごろ国税庁から、令和6年分 民間給与実態統計調査が公表されました。

①概要

給与所得者数は6,077万人(対前年比0.2%増、9万人の増加)で、民間の事業所が支払った給与の総額は241兆4,388億円(同3.7%増、8兆5,316億円の増加)、源泉徴収された所得税額は11兆1,834億円(同6.9%減、8,227億円の減少)でした。

②1年を通じて勤務した給与所得者

給与所得者数は5,137万人(対前年比1.2%増、60万人の増加)で、平均給与は478万円(同3.9%増、180千円の増加)となっています。

男女別にみると、給与所得者数は男性2,925万人(同1.3%増、38万人の増加)、女性2,212万人(同1.0%増、23万人の増加)で、平均給与は男性587万円(同3.2%増、182千円の増加)、女性333万円(同5.5%増、174千円の増加)となっています。

正社員、正社員以外の平均給与についてみると、正社員545万円(同2.8%増、146千円の増加)、正社員以外206万円(同2.2%増、44千円の増加)となっています。

令和6年分では、平均給与額が前年を上回り、正社員・常用雇用者を中心に緩やかな賃金上昇が確認されました。一方、パートやアルバイトなど非正規雇用者の給与水準は依然として低く、正規・非正規間の格差が続いています。

